

## 水稻栽培管理情報

営農経済部 米穀課

いもちの発生に注意！！

7月初旬と中旬に降雨が続き、いもち病に感染しやすい天候となっていますので注意をお願いします。またクロープナビで観測した「いもち病感染好適条件」も7月中旬に連続して発生しています。感染してから発病までは7日～10日位ですので圃場の見回りをを行い、葉いもちが発生している圃場では防除を行ってください。

いもち病に感染する可能性が高い状況なので、昨年いもち病の発生があった圃場は「コラトップ」をただちに散布してください。防除をしてある方も圃場をよく観察して後発に備えてください。

### ○葉いもち



### ○穂いもち



### ○枝梗いもち



#### 葉いもち

コラトップ粒剤 5 3～4kg/10a  
 コラトップ豆つぶ 250g/10a  
 コラトップジャンボP 10～13パック/10a  
 オリゼメート粒剤 3～4kg/10a  
 ゴウケツパック 10パック/10a

穂いもちに対しては出穂30日前～5日前まで  
 葉いもちに対しては初発10日前～初発時  
 収穫14日前まで  
 出穂5日前まで但し、収穫30日前まで

#### 穂いもち

ビーム粉剤DL 3～4kg/10a 収穫7日前まで  
 ブラシン粉剤DL 3～4kg/10a 収穫7日前まで  
 ビームゾル 1,000倍液を100ℓ/10a 収穫7日前まで  
 ブラシンフロアブル 1,000倍液を100ℓ/10a 収穫7日前まで  
 トライフロアブル 1,000倍液を100ℓ/10a 収穫14日前まで

いずれかを  
 圃場全面散布

※散布後7日～10日後に圃場の様子を確認し、いもち病の進行が止まらない場合もう一度防除をして下さい。使用回数に注意してください。

粉剤散布はナイアガラを使用



液剤散布は動噴（ジェット噴口も可）や乗用散布機を使用



農薬の散布をする際は、農薬のラベルを確認し、使用時期、使用量を守って散布しましょう  
 農薬の飛散防止の為、早朝の無風状態での散布に心掛けて下さい。又、隣接圃場が他作物の場合は、飛散しにくい剤型の農薬を使用して下さい。時期を逃すと効果が少ない剤もありますので、適期防除に努めて下さい。

令和6年度 クロップナビによるいもち病発生予察

令和6年7月22日現在

● 好適条件      ○ 準好適条件      △ 準準好適条件

	辰野町 横川	箕輪町 木下	南箕輪村 塩ノ井	伊那市					駒ヶ根市 赤穂	飯島町 飯島	中川村 横前
				美篤伊那米試験地			横山	高遠 山室			
				降水量 (mm)	平均 気温 (°C)	予察 情報					
7月1日		●	●				●	●	●		
7月2日	△	○	○				○		●		
7月3日	○	●	●				○	○	●	●	
7月4日				0.0	25.0						
7月5日				0.0	26.0			△			
7月6日	●	●		5.8	24.2						
7月7日				0.0	25.7						
7月8日				0.0	25.3						
7月9日				0.0	23.8						
7月10日				16.0	23.2						
7月11日			○	1.6	21.6			●		○	
7月12日			●	26.8	19.5			○			
7月13日			●	0.0	22.5	○					
7月14日		●	●	2.2	22.0			●	●	●	
7月15日		●	●	16.8	23.0	○		●	●		
7月16日		●	●	21.6	22.3	●	●	●	●	●	
7月17日	○		●	1.4	23.9		○				
7月18日				0.0	25.1			●		●	
7月19日				0.0	24.9						
7月20日		●		0.4	25.2						
7月21日											
7月22日											
7月23日											
7月24日											
7月25日											
7月26日											
7月27日											
7月28日											
7月29日											
7月30日											
7月31日											

●好適条件： 湿潤時間中の平均気温が15度C～25度Cであり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の平均値が20度C～25度Cの範囲にある

準好適条件： 湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20度C未満  
 ： 湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25度C以上  
 ： 湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15度C～25度Cの範囲外  
 ： 湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い

空欄： 好適条件なし

\* 感染から発病まで7～10日程度